

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部

平成30年度 11月号

平成30年11月15日 発行



朝夕めっきり肌寒くなってきました。本校のスロープに散る落ち葉の数も日増しに多くなり、憩いの広場（中庭）のモミジバフウの葉が真っ赤に色づきました。

次第に秋の深まりを感じます。（暦の上では、もう冬ですが……。）

先月は秋の遠足に出かけ、どの学年の児童も楽しみながら有意義な体験をしてきました。平成最後の行事が一つずつ終わっていきます。

2学期も残すところ1ヶ月半となりました。児童達は、落ち着いた気持ちで学校生活を送っています。2学期の仕上げに向け、一人ひとりが気持ちを引き締めて授業や学習に集中することが今後ますます大切になります。私たち教員も、じっくりと児童達と向き合っていこうと考えています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



11～12月の学校行事

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
11	16	金	いじめアンケート	12	1	土	冬コート着用可 5年GTEC英語検定
	17	土	3・4年GTEC英語検定		2	日	
	18	日			3	月	
	19	月	感謝祭		4	火	4～6年ベネッセ学力調査
	20	火			5	水	
	21	水			6	木	
	22	木			7	金	マラソン大会
	23	金	（勤労感謝の日）		8	土	（週休日）
	24	土	保護者懇親会 カレッジ自由見学会		9	日	
	25	日			10	月	Fog夫妻による演奏会
	26	月			11	火	
12	27	火			12	水	
	28	水			13	木	
	29	木			14	金	感謝祭
	30	金			15	土	小中交流会

漢字検定を実施しました

今年も10月27日（土）に希望者を対象に漢字検定を実施したところ、たくさんの児童達が受検しました。児童達は真剣な顔でそれぞれの級の問題に取り組んでいました。

内訳は、2級が2名、3級が2名、4級が21名、5級が24名、6級が26名、7級が35名、8級が34名、9級が12名、10級が20名です。

結果は約1ヶ月後にわかります。全員が無事合格することを心から祈っています。

給食が始まりました

11月5日（月）から、いよいよ本校で給食が始まりました。始まるまでは、準備にどれぐらいの時間がかかるのだろうか？ 昼休みの時間がなくなるだろうか？ 給食の量は多いか、少ないか？ などいろいろと心配していました。実際に始めて見ると意外とスムーズに準備も整い、児童達の休憩時間もいつもより5分程度少なくなっただけでした。また、おいしそうに喜んで給食を食べている児童達の様子を見て、安堵しています。低学年児童も完食する児童が多く、高学年ではご飯のおかわりをする児童がたくさんいました。今のところ給食を始めてよかったと喜んでいて、とはいえ、給食も始まったばかりですので、十分注意して今後の経過を見守り、よりよい給食のあり方を考えていきたいと思っています。



各種コンクール入賞者紹介

第68回「全国小・中学校作文コンクール」奈良県審査

小学校高学年の部 入選
5年1組 濱田果穂（はまだ かほ）さん
「羽ばたくために」

平成30年度「少年の主張（香芝市）」

優秀賞 6年1組 西峠 佑良（にしとうげ ゆら）さん
「自治会における魔法の言葉」

第75回「奈良県児童・生徒発明くふう展」入賞作品

奈良県議会議長賞
2年2組 原田実子（はらだ みこ）さん 「エコクローラーチェアー」
奈良県産業・雇用振興部長賞
3年2組 田中揺柳（たなか ゆな）さん 「南海トラフ巨大地震を知ろう」
奈良県発明協会会長賞
4年2組 松村史悠（まつむら しゅう）さん 「虹製造器」
日本弁理士会近畿支部長賞
3年2組 別所優薫（べっしょ ゆいか）さん 「おり紙キャッチャー」

朝日新聞に本校児童の「声」が掲載されました

国語の授業の取り組みとして、朝日新聞「声 voice オピニオン & フォーラム」に6年生児童が作品を投稿しました。

その結果、4人の作品が新聞に掲載されましたのでご紹介します。

朝日新聞「声 voice オピニオン & フォーラム」に掲載された本校児童の作品の一部です。

「みんな仲良く」という言葉が、私たちに何を教えてくれるのか。それは、自分たちが生きていく上で、必ず必要になる力だと思います。そして、それは、自分たちが生きていく上で、必ず必要になる力だと思います。そして、それは、自分たちが生きていく上で、必ず必要になる力だと思います。

2018年10月16日掲載

友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える

著者：菅野仁 価格：799円（税込）
出版社：筑摩書房 ちくまプリマー新書

2018年9月24日掲載

友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える

著者：菅野仁 価格：799円（税込）
出版社：筑摩書房 ちくまプリマー新書

2018年10月26日掲載

恩返ししたい人たちが5人

小学生 辻 蓮生（奈良県 12）
恩返ししたい人が5人います。1番目は、いまの担任の先生です。廊下を走るなど規則を破ると厳しいけど、みんなに優しく、たくさんほめてくれる先生が大好きです。

2番目は、空手の先生です。技がしっかり身につくまで教えてくれます。技だけでなく精神力を強くするように指導してくれる、とても大事な先生です。

3番目は、いつもそばにいてくれる友だちです。学校生活でとても大切です。たまには言い合い、けんかをしますが、仲直りをします。これからも一緒にいろいろ学んでいきたいです。

4番目は両親です。お父さんは家族のために汗をかいて働いてくれています。自分より他人を考えるお父さんはカッコいいので、お父さんのような大人になりたいです。お母さんも家族のことを最優先に考えてくれます。二人にいつも感謝しています。

2018年11月2日掲載

夜長に読書はいかがですか？

『友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える』

著者：菅野仁 価格：799円（税込）
出版社：筑摩書房 ちくまプリマー新書

【内容について】

「みんな仲良く」は幻想です。友だちは何よりも大切。でも、なぜこんなに友だちとの関係で傷つき、悩むのだろう。人と人の距離感覚をみがいて、上手に“つながり”を築けるようになるための本。「みんな仲良く」という理念、「私を丸ごと受け入れてくれる人がきっといる」という幻想の中に真の親しさは得られない。人間関係を根本から見直す、実用的社会学の本。



この本は、11月6日に実施した6年生実力テストの国語問題の出典です。

「ちくまプリマー新書」は「プリマー＝入門書」という名の通り、一般の教養新書と比べ、よりベーシックで普遍的なテーマについて、若い読者の人たちにもわかりやすい表現を用い、学校や家庭で学べない大事なことを「近所のおじさん、おばさん」のような立場から、わかりやすくまっすぐに伝えようという趣旨のシリーズです。中高生向けのシリーズですから題名には「友だち」という言葉が全面に出ていますが、家族、恋人、職場、ママ友パパ友……といった、自分以外の身近な「他者」すべてとの関係をどう結んだらよいのかがテーマになっています。

刊行は2008年3月で今から10年前です。その当時から比べると、現在はSNSなど、いろいろなコミュニケーションツールが発達し、他者とのつながりがより複雑になりました。中には、それがプレッシャーになっている人も多いのではないのでしょうか。一方で、現代はインターネットがあれば、人と会わずに一人でも生きていける時代です。そんな時代にどのように人とつながればよいのか、いろいろ考えさせられます。多感な思春期を迎えつつある児童にもぜひ読んで欲しい1冊です。（ちょっと難しいですが、頑張って……！）

因みに2017年6月6日に朝日新聞で紹介されて以来、各メディアでこの本が取り上げられ、現在、販売部数は38万部を突破したそうです。

児童募集に関わってのお願い

保護者の皆様のお知り合いに、受験適齢期のお子様をお持ちの方がいらっしゃいましたら、下記の自由見学会について、ぜひともご案内いただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

チラシなど必要でしたら各担任までご連絡ください。

カレッジ自由見学会

11月24日（土）に、小学部や中学部・高等部の受験を考えておられる方々を対象に、「カレッジ自由見学会」を開催します。9:30～12:00の間、校内を自由に見学していただけます。本校をより深く知っていただくため、学校行事紹介ビデオや相談コーナー、スタンブラリーなどを用意しています。たくさんの皆様のご来校をお待ちしています。

※カレッジ自由見学会のスクールバスを以下の通りに運行します。

近鉄大阪線 関屋駅から 9:15～11:45までピストン運行
近鉄南大阪線 上ノ太子駅から 9:00～11:20まで20分ごとに運行
JR大和路線 高井田駅から 9:00～11:20まで20分ごとに運行